



2025年度 七夕陶灯路『京焼・清水焼と五感』を開催
— 京都の伝統産業、京焼・清水焼とろうそくの灯りが織りなす
学生主体の幻想的なライトアップイベント —

日時：2025年7月4日（金）17：00～20：00

会場：京都橋大学キャンパス内 ※参加費無料

京都橋大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）では、7月4日（金）に京都の伝統的工芸品である京焼・清水焼や切子グラスにろうそくの灯りをともすライトアップイベント『七夕陶灯路』（たなばたととうろう）を、本学キャンパスにて開催します。

七夕陶灯路は、伝統産業の振興、地域交流を深めることを目的に、清水焼団地協同組合（京都市山科区）との連携で2006年に誕生したライトアップイベントで、今回で17回目の開催となります。本学の学生団体である「まちづくり研究会」の学生が主体的にイベントの企画・運営に携わっており、今年も清水焼団地協同組合の方々の協力を得て準備を進めています。今年度のテーマは『京焼・清水焼と五感』。来場者が「見る・聴く・香る・触れる・味わう」という五感を通じて、京焼・清水焼の美しさや職人の繊細な手仕事を直感的に体感できるブースを設置します。

この体験を通し、伝統工芸への理解と関心を深め、清水焼の魅力をより多くの人々に発信することを目的としています。また、学生団体OSJ橋による習字のワークショップやスタンプラリー、子ども向けの縁日コーナーや学生が経営するカフェ「Partage」も設け、幅広い世代が楽しめるような企画を用意しています。

大学を教育研究機関とするだけでなく、地域の教育機関や保護者とのつながりを深め、郷土再建の拠点として幅広い人々が集まり、交流する場として地域に開放していきたいと考えています。

【七夕陶灯路『京焼・清水焼と五感』概要】

日時：2025年7月4日（金）17：00～20：00

※雨天延期の場合は、7月11日（金）に開催

開催場所：京都橋大学キャンパス内

当日企画：17時00分～ 五感体験ブース/スタンプラリー/縁日コーナーなど
18時30分～ 陶灯路点灯

主催：まちづくり研究会

参加対象：山科地域に住む子どもとその家族、そして地域の皆さま

参加費：無料

開催当日は救護の対応や安全のため、救急救命サークル（TURF）も配置しています。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橋大学広報課 担当：前川、立木 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp

●一般の方のお問い合わせ先

京都橋大学学術振興課 TEL：075-574-1701 E-mail：aca-ext@tachibana-u.ac.jp



【五感体験ブース 概要】

《見る体験》

陶灯路の展示を通じ、来場者が陶芸の美しさを感じられる空間を演出します。

- ・陶灯路：清水焼の中に明かりを灯し、幻想的な空間を演出。
- ・立体陶灯路：棚の上に陶器を設置し、背後の空間や背景との組み合わせによって、陶器の立体感・奥行きを際立たせた展示を行う。

《聴く体験》

清水焼の風鈴と短冊を展示し、七夕の風情を体感できる空間を演出します。

- ・清水焼風鈴と、事前に地域の方や企業から集めた願いごとを書いた短冊を展示。

《香る体験》

山科にある花の香りを使い、地域の自然を感じられる空間を提供します。

- ・4種類（2ペア×4組）の香りを用意し、同じ香りを当てるクイズを実施。容器には清水焼を使用。

《触れる体験》

京焼・清水焼の素材に直接触れられる体験を提供します。

- ・粘土あそびブース：清水焼になる前の粘土を提供し、自由に遊んでもらいます。
- ・ねんどダーツ：清水焼の粘土を用い、ペニヤ板で作った的に当てるゲームを実施。

《味わう体験》

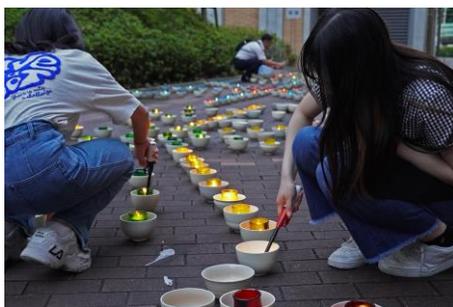
来場者に縁日らしい楽しさを提供し、見た目と味の両面から「味わう体験」を演出します。

- ・山科なすのキャラクター「もてなすくん」がデザインされたオリジナルシールをプラカップに貼り付け、わたあめを入れて提供。

【エリア案内】



【2024年度の陶灯路の様子】



●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：前川、立木 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp

●一般の方のお問い合わせ先

京都橘大学学術振興課 TEL：075-574-1701 E-mail：aca-ext@tachibana-u.ac.jp